

Office のライセンスが認証できなくなった場合の解消方法

- 方法1 サポートツールを利用する p.1
- 方法2 ライセンス情報を削除して再認証する p.2
- 方法3 WindowsUpdate を更新する p.4
- 方法4 新規 OS ユーザーでの利用に切り替える p.4

■ 方法1 サポート/回復アシスタント を利用する

1. 下記のサポートツール案内ページにアクセスします。
【 [Microsoft サポート/回復アシスタントについて - Office サポート](#) 】
2. ダウンロードした [SaraSetup.exe] を実行し、規約に同意します。
3. [Microsoft Support and Recovery] アプリを立ち上げ、[Office] > [サインインして Office アプリをライセンス認証できません。] を選択します。
4. YNU メールアカウントとそのパスワードを入力します。
5. トラブルシューティングが開始されますので、以降は、画面の指示に従ってください。

方法1 で解決しない場合は下記の2点を確認の上、方法2、3、4をお試しください。

■ Azure AD Join の設定を確認する

Windows 10 をご利用の場合には、以下の操作を実施後、ライセンス情報の削除の操作をお試しください。

1. [スタート メニュー] より歯車マークの [設定] をクリックします。
2. [アカウント] - [職場または学校にアクセスする] をクリックします。
3. 職場または学校アカウントにライセンス認証を行うアカウント情報が表示されているか確認します。
4. サインアウトを行うユーザーアカウントを選択して [切断] をクリックします。

■ ウイルス対策ソフトウェアを確認する

ウイルス対策ソフトウェアをオフにする、アンインストールすると、解決できる可能性があります。Office のインストール後に再びオンにする、再インストールすることを忘れないようにしてください。

大学配布の ApexOne について

Windows : [設定] > [アプリ] からアンインストールできます。

Mac : 情報基盤センターウェブサイトよりアンインストーラーを入手してください。

■ 方法2 – 手順 1. OlicenseCleanup.vbs を利用したライセンス情報の削除

手順 1 の操作でライセンス認証が正常に行えない場合には、続けて手順 2 の操作を実施してください。

Office からサインアウトする

1. いずれかの Office (Excel など) を起動し [アカウント] をクリックします。
2. [サインアウト] をクリックします。
3. "Office からサインアウト" 画面が表示されたら、[サインアウト] をクリックし、サインアウトを完了します。
複数のアカウントでサインインしている場合は、すべてのアカウントでサインアウトを実行します。
サインインしているアカウントがない場合、上記の操作は不要です。
4. 起動中のすべての Office を終了します。

OlicenseCleanup.vbs を実行する

※ 本操作を実行するためにはローカルの管理者権限 (Administrator) が必要です。

1. 下記 URL にアクセスします。
【 [Microsoft 365 Apps for enterprise のライセンス認証の状態をリセットする](#) 】
ページ中央部 (手順 4 下部) の "OlicenseCleanup.vbs" の項目にある [OlicenseCleanup.vbs] のリンクをクリックし、OlicenseCleanup.zip をダウンロードします。
2. ダウンロードした OlicenseCleanup.zip 内の OLicenseCleanup.vbs (VBScript Script ファイル) をダブルクリックし、スクリプトを実行します。
3. スクリプトは数秒で完了します。
4. 完了しましたら手順 3 へお進みください。

■ 方法2 – 手順 2. コマンドレットを使用したライセンス情報の駆除

<画像付き手順>

【 [Office 365 から提供される Office 2016 製品のライセンス再認証手順について](#) 】

※ 画面ショットが古い場合、一部手順が異なります。

Office のプロダクト キーを削除する

1. コマンドプロンプトを [管理者] として起動します。
<コマンドプロンプトの起動方法>
[スタートボタン] - プログラムの一覧より [Windows システムツール] - [コマンドプロンプト] を右クリックし、[その他] - [管理者として実行] の順にクリックします。
2. 下記いずれかのコマンドを [コピー] し、コマンドプロンプト上で右クリック、[貼り付け] のうえ、[Enter] キーを押下してコマンドを実行します。

OS と Office のビット数が同じ場合

```
cscript "C:¥Program Files¥Microsoft Office¥Office16¥ospp.vbs" /dstatus
```

64 bit OS に 32 bit Office をインストールしている場合

```
cscript "C:¥Program Files (x86)¥Microsoft Office¥Office16¥ospp.vbs" /dstatus
```

3. 上記コマンド実行後に出力された結果内、"Last 5 characters of installed product key: *****" の行より、***** で構成されたプロダクトキー5文字の値を確認します。
※ 4. の [*****] 部分に入力する値になります。
4. 下記いずれかのコマンドを [コピー] し、コマンドプロンプト上で右クリック、[貼り付け] のうえ、[Enter] キーを押下してコマンドを実行します。
※ ***** 部分に、3.で確認した5文字で構成されたプロダクトキーの値を入力します。
※ "Last 5 characters of installed product key: *****" が複数存在する場合には、すべて削除する必要がありますので、4.~6.を繰り返し行います。

OS と Office のビット数が同じ場合 cscript "C:¥Program Files¥Microsoft Office¥Office16¥ospp.vbs" /unpkey:*****
64 bit OS に 32 bit Office をインストールしている場合 cscript "C:¥Program Files (x86)¥Microsoft Office¥Office16¥ospp.vbs" /unpkey:*****

5. プロダクトキーの削除に成功すると、"Product key uninstall successful" が出力されます。
6. いま一度、2.のコマンドを実行し、プロダクトキーが残留していないかを確認します。
7. "No installed product keys detected" と表示されたら、コマンドプロンプトを終了し、[手順3](#)に進みます。

■ 方法2 – 手順 3. Office ライセンス認証を行う

1. いずれかの Office を起動します。
2. "サインインして Office を設定する" 画面が表示されたら、[サインイン] をクリックします。
"* * *さん、こんにちは。アカウントを確認してください。" の画面が表示される場合、[別のアカウントを使用する] をクリックします。
3. "Office ライセンス認証" 画面が表示されたら、ライセンス認証を行う Office 365 アカウントを入力し、[次へ] をクリックします。
※ "Office ライセンス認証" の画面が表示されない場合には、ほかのユーザーアカウントが Office にサインインしている可能性があります。その場合には、すべてのユーザーを Office からサインアウトし、Office を終了したうえで、再度 Office を起動したのち "Office ライセンス認証" の画面が表示されるかご確認ください。
4. "パスワードの入力" 画面が表示されたら、パスワードを入力し、[サインイン] をクリックします。
Windows 10 の場合、環境により [このデバイスではどこでもこのアカウントを使用する] の画面が表示されますので、任意のボタンをクリックします。
※ [はい] をクリックすると、Windows 10 にこのアカウントの情報が登録されますが、どの選択肢を実行しても Office の認証については影響ありません。
5. "ライセンス契約に同意します" 画面が表示されたら、規約を確認し [同意する] をクリックします。

■ 方法3 Windows Update の更新

Windows のバージョンが起因し事象が発生している場合、アップデートにて改善が見られる可能性があります。

当該端末にて、ご利用の Windows が最新の状態になっているかをご確認ください。

保留中の項目などもあればすべて更新を行ってください。

OS が最新の状態になりましたら、Office のサインインの動作をご確認ください。

< Windows Update >

自動更新が実施可能な場合は、以下の URL をご参照いただき更新プログラムの適用をお願いします。

【 [Windows Update:よくあるご質問](#) 】

※ Windows の OS 別に更新方法が記載されています。

■ 方法4 新規 OS ユーザープロファイルの作成

現在利用している OS のユーザープロファイルに起因している場合には、新規 OS ユーザーを作成することで、改善が見られる可能性があります。

<Windows 10>

【 [Windows 10 でローカルのユーザー アカウントまたは管理者アカウントを作成する](#) 】

ローカル ユーザー アカウントを作成する

1. [スタート] ボタンを選択し、[設定] > [アカウント] の順に選択し、[家族とその他のユーザー] を選択します。
(Windows の一部のエディションでは、[その他のユーザー] が表示されます)。
2. [その他のユーザーをこの PC に追加] を選択します。
3. [このユーザーのサインイン情報がありません] を選択し、次のページで、[Microsoft アカウント を持たないユーザーを追加する] を選択します。
4. ユーザー名、パスワード、パスワードのヒントを入力するか、またはセキュリティの質問を選択して [次へ] を選択します。

ローカル ユーザー アカウントを管理者アカウントに変更する

1. [スタート] > [設定] > [アカウント]の順に選択し、その後 [家族とその他のユーザー]内でアカウント所有者の名前を選択して [アカウントの種類の変更] を選択します。
2. [アカウントの種類] で [管理者] を選択し、[OK] を選択します。
3. 新しい管理者アカウントを使用してサインインします。

新規 OS ユーザープロファイルを作成したら、当該ユーザーにてログオンし、Office の動作をご確認ください。

※ 原因を回避する対処であるため、以前と同じ環境にするためには新規ユーザーへのデータ移行が必要です。デスクトップ等に保存されているファイルや、ブラウザのブックマーク情報等を移行します。同じ PC 内であるためインストールされたアプリケーション等はそのまま利用できますが、アプリケーションによっては再インストールが必要になります。